

今から 30 年前、筆者が卒業したころ、中山恒明先生が食道癌で世界の注目を浴び始め、食道癌の隆盛期を作られた。その後、中山先生一門の方々が常に先導的役割を果たしてこられたが、ここ数年来、早期診断という意味で第 2 のピークを作ろうとしている。

本号をみて、食道癌についての第 2 の黎明期を迎えつつあると感ずるのは筆者だけではないと思う。それほど、模索し続けてきた ep 癌、mm 癌の診断が一挙に花咲いたように思われるからである。ちょうど、昭和 30 年代に胃の早期癌をみつめようとしていたときによく似ている。胃の微細診断を追求していた努力が、このような形で食道癌の早期診断に結びつくとは思わなかったが、胃

の IIb の診断と同レベルと思えば大きな違いはない。むしろ、それにルゴールという妙薬があったために、胃の IIb の診断学よりはるかに急速に進歩する可能性を秘めている。胸がワクワクする思いがするのは、それほど、ep 癌、mm 癌の診断が、食道癌の予後をよくするからである。それらの肉眼形態も胃の m 癌をもっと平べったくしたものによく似ている。それだけ分類も単純化されるだろう。筆者らのグループでも ep 癌をみつけたものが 5 人まで増えてきた。もう聖域ではない。みつけないものが恥ずかしくなるのも時間の問題だ。形態診断をやっているとこんな楽しみがあるからやめられない。

胃と腸

1 月号 (第 23 巻・第 1 号) 予 告

発売予定 1 月 6 日
定 価 1,800 円

主題／胃 X 線・内視鏡所見と切除標本・病理所見との対比

序 説	X 線・内視鏡所見と切除標本との対比はなぜ必要か	早胃検中央診療所	白 壁 彦 夫
主 題	胃 X 線所見と切除標本所見との対比—方法と問題点	鹿児島大・2 内	政 信太郎・他
	胃 X 線所見と切除標本所見との対比—方法と問題点	癌研病院・内科	馬場 保昌・他
	胃 X 線所見と切除標本所見との対比—特に CR 法による対比	国立がんセンター・放診	山田 達哉・他
	胃内視鏡所見と切除標本所見との対比	虎の門病院・消内	星原 芳雄・他
	胃内視鏡所見と切除標本所見との対比	福大筑紫病院	八尾 恒良・他
	消化管の超音波内視鏡所見と切除標本所見との対比	名大・2 内	中澤 三郎・他
	胃疾患の内視鏡的超音波断層像と病理所見の対比	自治医大・消内	山中 恒夫・他
	切除胃肉眼所見と組織所見との対比	新潟大・1 病理	渡辺 英伸・他
今月の症例	大腸囊腫様気腫の 1 例	国立がんセンター・放診	水口 安則・他
病理学講座	消化器疾患の切除標本—取り扱い方から組織診断まで (13)	新潟大・1 病理	渡 辺 英 伸
初心者講座	食道検査法 (1)	東医歯大・1 外	遠 藤 光 夫

胃 と 腸 (第 22 巻 第 12 号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

☎ 受付台 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5714

販売部直通 (03) 817-5659

1987 年 12 月 25 日発行 (毎月 25 日発行)

1 部定価 1,700 円 (配送料 80 円)

年ざめ予約購読料 19,080 円 (送料弊社負担)

FAX (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印 刷 所 永和印刷 (株) ☎ (03) 813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 814-5771

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1987, Printed in Japan.

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権の侵害となることがありますので御注意下さい。

(担当) 窪田・長谷川・萩原・大竹